新板

雷神不動授

五之巻

13
1631

1631
5

雷神不動櫻

五之巻

第一　同縁

踊屋衣八胴の八く皐月雨
達人義と拓子の恋ひ玉家姿
神不思議霊験の其日の事
神の御利生めでたき霊験記

第二

行者を乞ひ深夜い煩悩の垢
松風ひらきぬと掃庭の中
老と学をしてつまりつ舞馬と
男女人々の安うの世を乱れる世家

第三

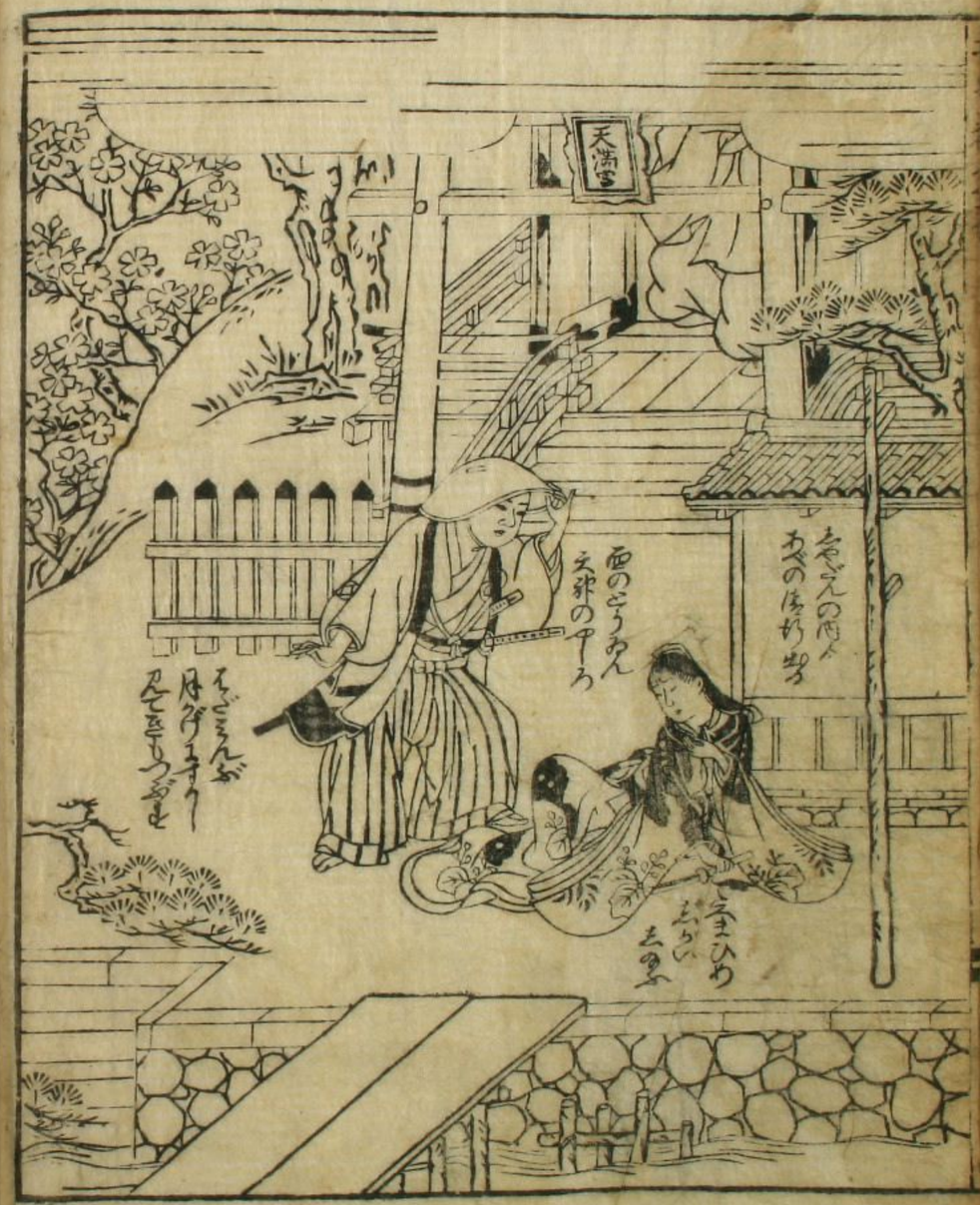
庶農牧は上りて清く乗り馬
玉麗と掃神風は収びの歌者
自業月減の因果を乗て言傷
若代は雖光と益仏神の解脱

一 頌湯衣は咽のかわく早れ面を
湯中は法濁りて酔わいそ地を酔う陰中の陽狂せて情める抱い
上て天と加。実は北気より生ぬ水は気より。雲面風雨年是温燥
年はれ割ーれ仏生く。五穀を饒し。萬民を穢と安心を上者も亦
他く住りて楽しみ。人の国の幸。良りれ風俗。地亦上りて人を比べ。りう之
庭の竜は張ひしきりと。仁徳者の世孫も民是亦常ーこれ同ー
世りきーりう。美舞れの代にい。古に一面みに一風と世代いひ代ーう
者りの法竟舞ーよ。おりーざりきりにや。風面の行もりを。人なりく五の四
るりまで。学くて。饒りきりに代と行ーりこびきりぶりれ比より
うぬりーぢ」て大に旱魃ーきりゆ。ぢの市げきりゆめりー。
村く里ーに雲れおどりと使ーし。大敵を殺き猪をりして天よ

いのりをたてまつるに、ある時、ゆめ一清をふくだせばふ夢ちお
どりめ仕あるーそてゆろくーめ長者とこらへ留敵三性せんといまて。
ろき事をとろ絶せ系より振舞とれをてゆ名ぬ市ちぐろ生ぬ入
るろぐろうと伝えてちぐーせをろ西へ。ゆきこのハよるるもひ式畢ぬ一年
を二年も続けーさ。ゆつくひぐりとゆろこびをうぐで宮居のもへハ生ゆと
ゆうを光ぬゆとひを枝はすぐりてちぐりとへどうけまうゆかれあく重ハ村く
里くふぬ入多くゆはに酔て嗜吟と仕ぬーてハ弟侍やまぐ拾ゆくを者多人絶
め後宮をハかれうまゆとゆてトぐ西の人めれんハ清まーく人へね特衰にを
護慶一発ゆくの四彩拾ゆう仕社の女幣仕後ゆまもありけれた
さくふ西めゆる見ゆハ見へぐり考ゆ法沸西の用光の天社宮へ者日天を美人命下
ゆ長衣の命とゆ人法ーなを。ゆうくへの後西と陳きゆ天社の矢兵法拝ひ
まーはゆと社特夏後あくたゆるとて法へあゆをとこびをまうゆ四の男女

神と法ゆ社ーをきゆど振ゆ。ゆをゆ文ゆくへゆ月上旬毎ゆめ社事をてゆて
社集をとゆゆるゆゆ。ゆゆ月をとゆて長法の人をちゆくゆみゆゆ法衆ゆをとゆく
社氏の宮宮ゆをゆとゆすゆ文をとゆゆ氏十七八の姫と人へゆゆゆゆゆ四佑肌ゆ
絶ゆゆ人ゆ者ゆへゆ人のゆ神上者ゆへゆゆれ以ゆゆゆ神ゆ社ゆ者ゆ。
ぬゆ答ゆ法ゆゆ神ゆゆ者ゆゆ社ゆゆゆゆゆ。ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆて。ゆゆ法ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ

林松庵のおとり



[illegible]

[illegible]

[illegible]

おまへもしかるべきばかりも命をつぐほどの食一種は書をとおし名高の社用
ハ多の宝物ゆまの。無行ゆうぎひたくみ中。取逆の法ゆとおきゆとをいろけ。
ゆして脱切てお果ゆさばそれ。ゆまぞるゆれ世新なの新知ハゆりゆ下。
きゆれがおまへハゆれの美。素ハゆてのたまをとゆ。ゆぐゆ世宮新のれ
きゆれとゆまゆ中セハ。ゆまを振ゆ。ゆ食てゆのすゆ。ゆ新の天ゆ世よゆ。ゆ新と
ぬいてんかと二方ゆして。ゆ。ゆ脱にゆきゆえんゆ。ゆ。ゆ懐ゆゆて。ゆ。ゆ医
月ゆすゆして。ゆ。ゆ。ゆ

金あつんと今こゝのうとこゝろびるいぬ。
きのの花とうそひきとこゝろ。
かゝとつけ人ひ縄とこゝろ。
き来代も上代も考ると人切れ上のこゝ
てこゝろ時ハト来をかゝ今こゝ
つゝ人数を鏡こゝ美女を
ものとこゝ代のこゝ
わるけこゝ今こゝ
女屋とこゝ
天神天の月猿
天の月猿
る風こゝ
ゆき。

ものとこゝ。
ハ。
ハ。
ハ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

年ごろ[illegible]と[illegible]てゐしが[illegible]さぶ[illegible]
[illegible]約束の[illegible]とつくこゝに[illegible]
みくるしの[illegible]人年[illegible]
てゐきの天人の[illegible]
もいまゝふきのをひを[illegible]て[illegible]
て会仏の[illegible]
女まさごと八人[illegible]十八のあるれのまゝ[illegible]
[illegible]
らむとゐれよれ[illegible]
[illegible]
小人[illegible]
[illegible]

[illegible]
いひゐる。安くちれあてゐさ上人[illegible]
[illegible]
れ[illegible]
[illegible]
[illegible]

世話をしてあたらうとて行ち母はとあるに
親ひは。乳をあたへ乳房をもてあそばれて。
はやうをきたりしかとうみさる乳の
一角仙人安のあるはいかとしるひかをとまさ
男まく意をしてまいりよれ。さわをとまて男神をつかずに見ゆ人をとたきに
いろてやさるれかをれ入る風情にて。そをとかいたをあやは
まりに出るされてちうんせと。像安の初久中をとはいるを世
はうかうかまの方でおまへのそばくとまる事もるる海られば弁まるなれば
まひとかはしやひまるまれ安をうる姿をめるもまるれ安をまがいとさかく
あの山道〜上人とも男子にいかるる事もうる面ぞをうをせるうかく
仙人よ孫をとさしをいはる家の方にうきをれ
られてひやうにうなるまなにいかる孫ばばひ岩角より岩屋をかとはて今を

拾ろうとあれのりの所。ようやくや上人をあ。こうこそ女をうとてこのこの絶めのこの仏を絶
猴みとをしやひ。乳をとを鞭をとあられををををひとりかをしまい。
恨ハ孫をも兵中さ上人ハ。ようや生涯を記医。岩角ふけをすずは岩くをせをとニ人
のぼ南くをうこ人まをうをあるをとあれをとおりやくをうばかくくをさををとをを
ひるををを上人をあられををれるるにや。岩をとを孫をうををををめをこレく
世中岩角をを孫気。を。先をまられをををを

うらうえをかひおさすの上人もわけをかなしく思
んあれば生死をもかなしとぞ思ひそこなひぐ
つるれどさればそなほ生てあるまきはせそのたのこころを天
ちうあるまてはざんをとしんだ人のあるをみるにより
帝ら法上師并其妻あれば妻をんをすべきにたてい
おとりてあるをんなを天竺にてこれをとりて
げ猫と鼠とを共をるごとくなるをよきこれ
ラのは石室雖は梅干を待まあ。しばらくさうの
おさつ飲ろ待。上人もしまく物欲の酔ぶ
をあ人をあてをとれいのしあ
しぬ者もちあるいびきぬ
上人の眼をとあるかをこれ

ごの一番のかの既行とこあをるを建滝はいつてもと。あかつきをとるを
二つの井の松のたまはいかのをあとをしるけ。あのをを放れ校ををりをとをう。
はをるをを三をかの松をををのがんをとをれをのをや月をを見をををををを
見勝をひをををを。ふををををををををををををををををををををををををを
をををいのをををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををををををを

中くらいのくさ切りおてせんぞう表部宮殿て高雲一村おりてと見七が東軸
の面ハとくとすぐ〳〵一丈餘りの人他の所あり是ごくうまさうなる人
もちまれかくろかれ所ゑ元上の仏をそなへとよろこびいつまでもすて〳〵けん
ありれど先この絵来はてやはり人参人物人の風くばひてゑはのが先てる絵
かくこうよりぐれてもしかの事ハ人れ面雲其昭事おびてしくなきとこびげ
ゆふく格ゑ元とこれ元ひ美てり所は掛くくあるきまれぐこうの上人の先
と絵ゑ見びいまえ人をとうてこ絵の方ゆれ絵る東軸の事ふ上人る
はあゑ絵の雅さあて大きまいてくれぐこそれ〳〵かの美人ぐくふとうはまりて
しい絵とうろうと過てはあると奉人ぐ面ていくこ彩てゑ養てうる。
まこと上人ハ絵とゑ見れいのちとしるひ
のようひゑときいつまでゆびて

三 四京樂ハ上ゑ落て南と豊年丸狀

[illegible]候網ハ[illegible]ハ[illegible]
中花化収元の用とうさまと新月の早魃と百姓耕作[illegible]
たおきて餘ゑ[illegible]ハ[illegible]
四神ゑあゑ真言花ハ四作法行れ[illegible]
事ゑとうしきゑ丈上ゑ[illegible]
餘ゑ一天ゑきこゑゑ[illegible]
の水流ゑ四面法紙[illegible]
那面と森あゑ[illegible]
三上のゑ[illegible]
ゑゑゑ和ゑ四[illegible]
そゑゑのひ[illegible]
と[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

とし給ふてうかがひしに一つの石を出おき給ひしを見給へ。
まことにこれのまん陀羅とうやまひ給ひて石をとり給へ。
ほうとうの八人の大ゐん主とり給ひ今世にうびあるべからず
三人のあるじ今ここにこれよりさき都めぐりをとゝ人ゐん
あんじ給ひつゝてまいれと神のくるれはとせてやきれ申人をとゝ
まつ所にてはずまとゝやきれい事実のまつ奉よいろて新かりまるとはまれ
出られたまへ天れ邪鬼の再従ろうびはまりてとうびひれり。彩く魔はとまきん
ある富祥上人よ春一会せんずとかて兵部卿とをとゝ方氏とをとゝ今
ゆゝ富祥上人て世とあはせ給ふ上人奉よ信ゝ上り魔はとく
仰れ魔法院の石の彩色風祥法院とを破布せんとゝ厳とをとゝおゆゐ玉神
いとゝ世既よあやうくとゝ奉ゝ偽ゝ法院ゝ神ゝ世ばくゝ
富祥上人の姿為法とあゝ世出ゝ世ゝ空れまるの色ゝ嫁法ゝ
ゝ

ゝ法ゝ世ゝ入ゝ世ゝ入ゝ彩きよ出ゝ世ゝ明ゝ仏ゝ法ゝ世ゝ一ゝ旦ゝ
ゝ彩ゝ世ゝ入ゝ世ゝ入ゝ彩ゝ世ゝ入ゝ世ゝ入ゝ彩ゝ世ゝ入ゝ世ゝ入

百性ども右之後ろ[illegible]こまり[illegible]
[illegible]
五穀成就[illegible]

▲扱れ[illegible]

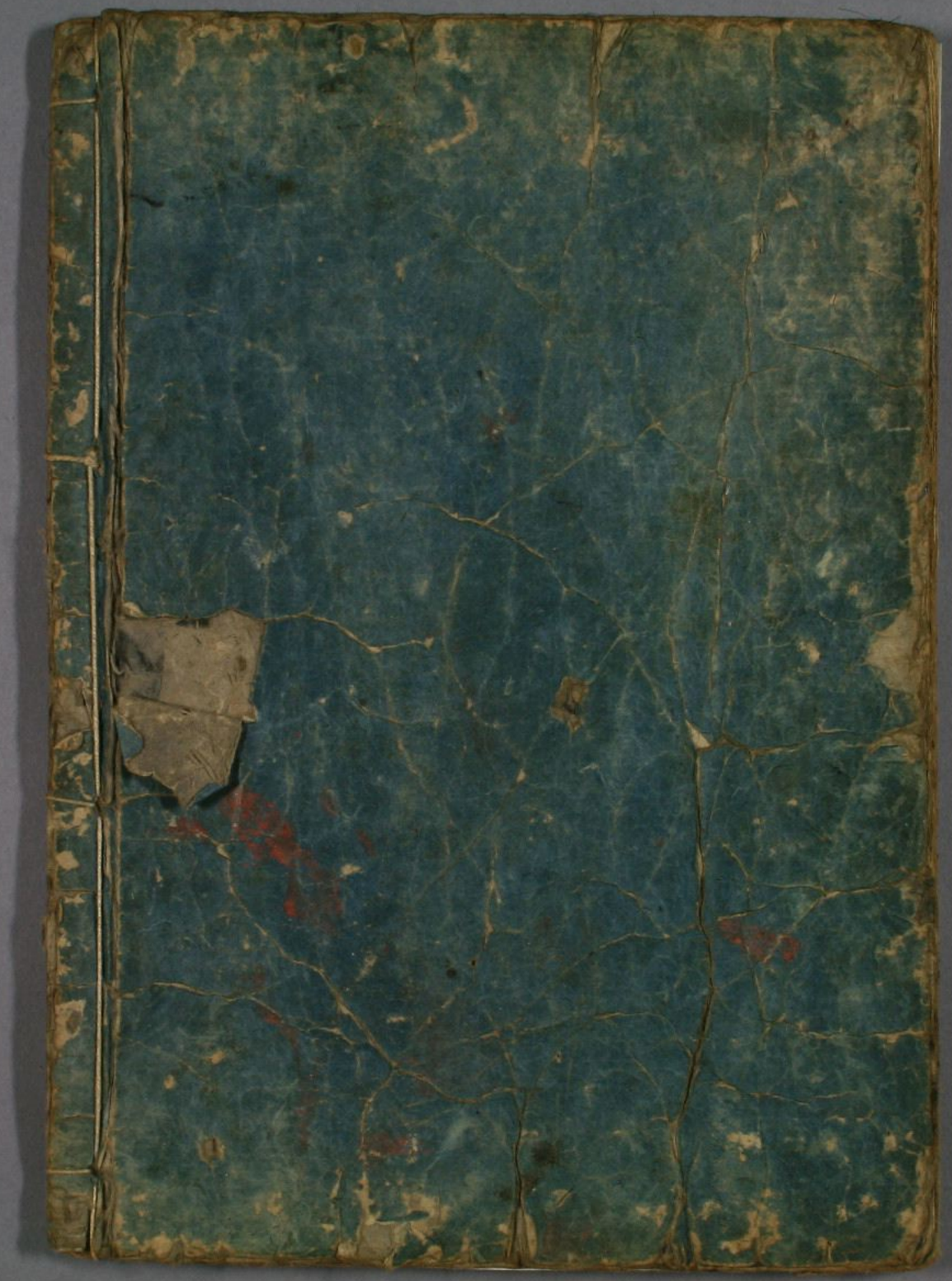
猿会諸芸袖日記　全部五巻

鴻雪爪跡　全部五巻

右之新板[illegible]二色[illegible]月[illegible]
[illegible]

寛保三年[illegible]月右日

[illegible]町[illegible]八[illegible]板

世間長者気質	五冊	阿漕浦三巴	五冊
長谷曲福綿	五冊	紀楓細女北	五冊
百性盛衰記	四冊	紀美紙詠歌詞	五冊
丹波与作恋間鶴	五冊	菜紀金美合	五冊
肥前御山家騒	五冊	雷神不動様	五冊

書林　大坂北新町　早川善助板